

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 1 月 10 日作成)

小委員会名	連続体構造小委員会		主 査 名：武藤 厚 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：大森 博司
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広く曲面構造(屋根シェル、容器、連続体全般)の設計や既存構造物の性能評価のための研究推進(全期間中)。</li> <li>・ アーチやシェルの実挙動を基礎実験と数値解析により改めて検証を試み、データベース化を行う(全期間中)。</li> <li>・ 新しい設計手法の検証や、さらなる設計の高度化を目指した活動を行う。</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 無 武藤 厚(名城大学) 今川 憲英(東京電機大学) 内山 学(清水建設) 河村 拓昌(TTDC) 佐々木 睦朗(法政大学) 高山 誠(金沢工業大学) 西村 敏雄(日本大学) 原 隆(徳山工業高等専門学校) 藤井 大地(近畿大学) 堀 直人(国土館大学) 前田 寿朗(早稲田大学) 真下 和彦(東海大学 工学部) 三井 和男(日本大学) オブザーバ； 皆川 洋一(鹿児島大学) 加藤 史郎(豊橋技術科学大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	「鉄筋コンクリート系厚肉床壁構造のデザイン 33 選WG」；コンクリート系厚肉床壁構造物の需要は近年、集合住宅の主構造としての採用が多く、これらの構造の性能評価や実用的設計法の一般化の推進		
2008 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無： 有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s13/newpage.htm">http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s13/newpage.htm</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. RC アーチの非線形挙動に関する各委員による実験は順調に進行している。 2. 実験に関するデータベース化は計画途上である。 3. 活動目標全般に渡る情報交換が進展している。
委員会活動の問題点・課題	1. 初年度の成果について整理中であり、今後の調整が必要である。 2. 委員会としての成果の公表の検討を開始する時期である。